

る り こ う
寺だより「瑠璃光」

第4号 青葉まつり号 平成19年6月15日
発行責任者 倉松俊弘・護持会 広報担当 阿部泰治

真言宗 智山派

医王山 阿弥陀院 薬王寺

TEL : 0289-65-5315 FAX : 0289-64-5339

URL : <http://www.yakuohji.or.jp>

ご挨拶

薬王寺 円明院

住職 倉松俊弘

梅雨の時期、みなさまいかがお過ごしですか？

六月は衣替え、夏服になり涼しさを感じさせてくれます。地球環境保護のため「クールビズ」という概念が昨年より導入されました。しかし時と場合があります。国会議員として国民の前に姿をみせる時、楽な服装はいかなものかと考えさせられます。

「威儀を正す」という言葉があります。我々僧侶も常に威儀を正すことを修行としてきました。服装の乱れは心の乱れ、今の政治家に問われる事ではないでしょうか？

また「襟を正す」という言葉があります。中国である易者の話を聞いていた役人が、その尊さに思わず自然に冠のひもを結び直し、姿勢を正したことからいわれた言葉です。姿、形は大切なものであること改めて感じました。私の話を聞いて襟を正してくれる人が現れますように精進をします。

合掌

法要のご案内 6 ~ 9 月

6 月	
15日(金)	青葉まつり 京都 智積院
24日(日)	平成19年度 定例 総代会
7 月	
31日(火)	薬王寺 寺子屋
8 月	
9日(木)	初盆 仏供養会
13~16日	盂蘭盆会
13日(月)	迎え盆法要
16日(木)	送り盆法要
9 月	
20~26日	秋季彼岸
22日(土)	大施餓鬼会(秋季彼岸会)

7月31日(火)第3回寺子屋 午前9時~午後4時頃

小学生を対象に、勤行、作務、写仏に写経、座禅修行の1日体験にトライ！「夏休みの宿題」もOK！費用は無料。申込受付は住職まで

8月9日(木)初盆仏供養会 午前11時~

初盆を迎えるご精霊さまのご供養をいたします。初盆の迎え方や、精霊棚、五如来幡について法話をいたします。ご来寺の上、ご焼香ください。該当されるお檀家の皆様に個別にご案内をさせていただきます。

菩提寺の行事に参加しましょう

8月13日(月)迎え盆法要 午前10時~

ご精霊様をお迎えし、ご本尊様に感謝する法要です。上記時間に合わせ、ご先祖様のお迎えをしては如何でしょうか？約15分程度の法要です。

8月16日(水)送り盆法要 午前10時~午後2時~午後6時~

ご精霊様をお見送りし、ご本尊様に感謝する法要です。午前10時、午後2時、午後6時の3回行います。時間に合わせご来寺ください。



9月22日(土)大施餓鬼会 午後1時~

当寺恒例の大施餓鬼会(秋季彼岸会)を厳修します。法要に先立ち、本山特派布教師の法話を予定しています。その後、各家先祖代々の霊と有縁無縁の諸霊に祈りを運びます。墓参時間を合わせ、是非ともお運びください。





弘法大師の祥月命日に行われる「正御影供」、春季彼岸会と併せ法要を行いました。法要前には、「宗祖弘法大師から学ぼう」と題し、この日の六地藏開眼に合わせ、地藏尊の持ち物や役割(下記六地藏尊の紹介参照)などの法話がありました。正御影供・春季彼岸会后、故津村宗次郎氏より篤志寄進を頂きました「六地藏尊」が、津村氏ご家族をはじめ、壇信徒の列席のもと開眼されました。

六 地 蔵 尊 の 紹 介

地藏菩薩は釈迦の入滅後から弥勒菩薩が出生するまで、56億7千年後の無仏時代に出現し、六道に輪廻して苦しむ衆生を余すことなく教化救済する菩薩といわれています。



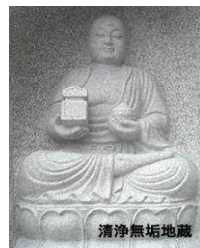
大定智悲地藏



大徳清淨地藏



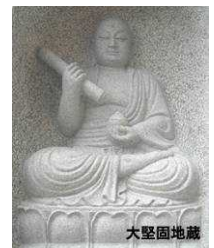
大光明地藏



清淨無垢地藏



大清淨地藏



大堅固地藏

左の画像から、「大定智悲地藏」右手に宝珠、左手に錫杖を持ち、地獄道を救います。「大徳清淨地藏」右手は与願印、左手は宝珠を持ち、餓鬼道を救います。「大光明地藏」右手に如意、左手に宝珠を持ち、畜生道を救います。「清淨無垢地藏」右手に梵篋、左手に宝珠を持ち、修羅道を救います。「大清淨地藏」右手は施無畏印、左手に宝珠を持ち、人道を救います。「大堅固地藏」右手に経、左手に宝珠を持ち、天道を救います。

薬王寺の「六地藏尊」としてこれから長きに渡り、檀信徒のみなさんの願いを聞き届けてくださるでしょう。

語意説明 「宝珠(如意宝珠) あらゆる願いを叶える不思議な珠で、仏舎利の変形とも言われます」

「如意 背をかく孫の手の意味で、思うままになるといわれます」 「与願印 衆生の念願を授与する意味を持つ印」

「施無畏印 衆生の種々の恐れを取り除き安心させて救済する意味を持つ印」

4月8日(日) 花まつり仏生会 報告

釈尊の誕生日を祝う「仏生会」、当寺でも誕生仏をおまつりし、甘茶供養を行いました。8日は、ご本尊さまの縁日でもあり、早朝から「薬師護摩」を厳修。参座した方と「薬師粥」と「甘茶」をいただきました。



毎月8日は、朝の勤行後「薬師粥」がいただけます。

一口法話 おかげさまで 第4回

「ねえ、お坊さん。どうしたら仏になれるの？」

今回から、成仏の話です。仏になるためには何年も何年も修行をしなければなりません。先ず修行期間の問題。どのくらいってね、「劫(ごう)」という時間の単位を知っていますか？1劫とは、「40里四方(160km)の大きな岩がある。100年に一度、天女が羽衣で岩をサーッとなでて、この岩がすり減ってなくなるまでの時間」あるいは「40里四方の大きな蔵がある。100年に一度、天女がケシつぶを1粒ずつ入れていって蔵がいっぱいになるまでの時間」をいいます。気の遠くなるような時間ですね。しかも仏になるためには、三阿僧祇劫(さんあそぎごう)(3×10の56乗×劫)を勤めなければならないのです。大変な年月を要しますね。「お坊さん、そんなに勤めなくてはならないの？そんなに生きていられないよ。無理だよ。」「そりゃそうだ、無理だね。でもね、キミはもうすでに何十年も、何十万年も、何億年も修行をしているんだよ。前世って聞いたことあるかい。キミがこの世に生まれる前の話。ご先祖様やそのまたご先祖様が良く知っているよ。ちゃんと修行をしていたのさ。今度、お盆があるね、家の人と一緒に墓参りをして、ご先祖様に聞いてごらん。」おかげさまで。合掌